

（主な意見・質問）

（意見）学校再編整備第二次実施計画の後期計画を見ると、過去の説明会で私が発言してきた内容が若干ではあるが、盛り込まれているという印象を持っている。ただ、資料に「郊外の日土小学校は国の重要文化財に指定されており、真穴小学校についても、地域の特色などを考慮して、今後の検討課題とする。」とあるが、双岩小も地域の特色がある学校だと思っている。条件を付けてしまうと他の地域にも影響してくると思うので、次の第三次実施計画を策定する場合は、そういう条件を付けずに検討してもらえば良いと思う。

（答）学校再編整備第二次実施計画は、令和9年度で10年計画の期限が切れるため、令和9年度中には新たな第三次実施計画を作成する必要がある。先ほど、小学校3校を統合した場合、市の南エリアの軸として、八幡浜南小学校（仮称）とすると説明したが、他にも北エリアの軸、東・西エリアの軸となる学校をどこにするかを検討していく必要がある。

また、中学校は、対象校3校の校区内の保護者に対して2回ずつ説明会を行った。以前から保護者説明会を行っていた松柏中では、当時は反対意見も多くあったが、今回の説明会では、概ね保護者の理解が得られたと思っている。ただ、愛宕中は、今回の後期計画で初めて学校統廃合の対象校となったので、1回目の説明会では保護者から急すぎるとの意見もあった。各地区によっては、様々な保護者の思いがあるので、例えばこの地区の説明会は2回ではなく3回にするなど回数を増やすなどして保護者の理解を得ていきたいと考えている。

（問）以前は、過半数の賛成を持って決定するということだったが、今回の説明では保護者の賛否を問わないとしている。賛否を問わないということは、統合の是非について投票することなく、統合が決定していくということか。

（答）概ね保護者の理解が得られれば、計画通りに再編を行う。子どもの数が減少している中で、後期計画では、子どもたちにとってより良い教育環境の整備を第一に考え、そのための方向性を示し、保護者の理解を得ながら進めていきたい。今回の学校再編後期計画保護者説明会では、安全な通学路や通学支援の方法について、これまで出された意見も含めて、改善できることは改善していきたいと考えている。

（問）実質的には受け入れる側の神山小の保護者は、どのように感じているのか教えてほしい。

（答）神山小の保護者説明会では、神山地区公民館の会合があった時に、神山小の名称が変わるのがとても残念だと言っている人もいて、住民からも大きな反応があったという意見があった。教育委員会としては、現在の神山小の校区や公民館のエリアではなく、市全体の大きなエリアで考えていく必要があるので、あくまでも仮称ではあるが、八幡浜南小学校として説明した。

（意見）令和8年4月1日の統合ということであれば、今の小学3年生が6年生になる時だと思うが、現在、双岩小の3年生は女子が1人だけである。人数が増えることは望ましいと思うが、小さな学校でできていたことが、大きい学校になるとできなくなることもある。6年生になると、学校行事の中心を担うようになるが、例えば、運動会の団長をしたいと思っても新しい学校では皆と話し合えないといけな。子どもは順応性が高いので、環境が大きく変わっても大丈夫だと思うが、それでも子

どもたちへの配慮をお願いしたい。また、それぞれの学校や地域の思いもあるが、3校が統合して新しい学校になって良かったと思える雰囲気作りがあると良いと思う。

(答) 子どもたち同士の交流はとても大事だと思っているので、統合が決まれば、少なくとも1年かけて、学校間の交流を増やし、仲間作りをした上で新たな学校をスタートしたいと考えている。

中学校の例で言えば、令和3年度に八代中と真穴中が統合する際に、生徒会長をどのように決めるのかを両校で話し合った結果、八代中の生徒が生徒会長に、真穴中の生徒が副会長になった。その後、八代中と真穴中の子どもたちが一緒に学びながら、それぞれの良さを吸収し合い、次の年の生徒会役員選挙では、旧真穴中の生徒が立候補して生徒会長になった。子どもたちは、新しい出会いの中で、周りが思っている以上に交流を深めていくものと思っている。新しい学校を作るといふ雰囲気づくりを保護者の方にも共有してほしいと思う。

(問) 3校が統合すれば、現在使用している体操服はどうなるのか。例えば、現在の双岩小は横断バックと黄色い帽子を被っているが、神山小は帽子を被っていないと思うので、統合してからどうなるのか教えてほしい。

(答) 在校生については、市が新しい体操服を支給したいと考えているが、統合後に入学する児童は、個人負担となる。他にも、校章や校歌、校訓などについても協議する必要があるので、地区協議会（仮称）や統合準備委員会（仮称）、作業部会で決めていくものと考えている。

(問) 大人数の学校になると、いろいろな子どもがいると思うので、保護者として心配しているが、仮にいじめがあった場合に教育委員会はどのような対応をするのか。

(答) 学校の大小に関わらず、配慮や支援が必要な子どもはいる。いじめ事案については、認知するごとに学校から報告があるが、小学校は1学期末現在で1件も認知されていない。保護者間でいろいろな噂があるかもしれないが、いじめ事案に繋がらないように見守ってほしいと思う。

(意見) 以前の八代中と双岩中の統合説明会では、地域行事と学校行事が重ならないように配慮すると言っていたが、統合後も八代中の運動会と地区の敬老会の日が重なったことがある。その時の約束事が守られていないようなので疑心暗鬼になっている。地域行事と学校行事が重ならないように配慮してほしい。

(答) 大きな行事は、学校も地域も早めに開催日を決めていくと思うので、互いに情報提供しながら、日程調整をしていく必要があると思う。

(問) 先ほど川上小の説明会は、PTAの参観日に合わせて行ったと聞いたが、双岩小でも学校行事に合わせて説明会をするという考えはないのか。

(答) 参観日の後に説明会を行ったのは川上小だけである。他の学校は、全て午後7時から各学校の体育館で行った。先ほども説明したが、2回の説明会では足りないので、3回目を参観日に合わせて行ってほしいということであれば、学校とも協議して実施していきたいと思う。

(問) 3校が統合した場合、スクールカウンセラーは常駐されるのか。

(答) 現在、スクールカウンセラーは、松柏中、八代中、保内中の3校に1人ずつ配置している。愛宕中は、スクールカウンセラーを配置していないので、ハートなんでも相談員を配置している。スクー

ルカウンセラーとハートなんでも相談員は、拠点は中学校であるが、校区内の小学校すべてに関わっている。この事業は、県の補助で実施しているので、人数が足りないということであれば、県に相談していきたい。

(問) 3校が統合した場合、2学級になる学年があるのか。また、現在の双岩小では、1教室に担任と補助の2人の先生で授業を行っているが、新しい学校ではどうなるのか。

(答) 予定通り令和8年度に統合すれば、現在の推計値で見ると、特別支援学級を除いて、6年生が35人、5年生が40人、4年生が36人、3年生が40人、2年生が33人、1年生が35人となる。愛媛県の場合は、35人学級としているので、6年生の35人は微妙だが、3年生以上は2学級になると思う。1・2年生は、転入により少し増えれば、2学級になるという状況である。ただ、令和10年度以降は、2学級の維持は難しくなると思う。

教員数については、現在の神山小は校長、教頭、養護、事務職員を含めて17人である。川上小が7人、双岩小が8人である。学級数によって教員数が決まるので、定数からいえば18人くらいになると思うが、規模の大きい学校では、例えば、外国語を専門で教える教員を配置したり、35人を2クラスに分けて少人数で授業をすれば加配がついたりするので、3校が統合すれば21人から22人の教員が配置されると思う。ただ、一つの教室に2人の教員を配置することは難しいと思う。

(問) 学年によって下校時間が違うと思うが、スクールバスの時間帯や乗車人数を教えてください。

(答) 現在、舌田地区の子どもたちは13人であるが、学年に応じてジャンボタクシーや小型タクシーを利用して、3便体制で運行している。先生が配車時間を割り振りして、バスやタクシーを待つ間は、児童を一つの教室に集めて、そこで勉強している。その間は、教員が対応している。双岩小は、スクールバスの利用を考えているので、子どもの人数によりバスの大きさが決まり、安全な乗降場所を検討しながら便数を決めていきたいと考えている。

(問) 統合するまでの1年間は、子ども同士の交流を進めると聞いたが、保護者同志の交流も考えているのか。

(答) 保護者同士が交流する機会については、各校PTAとも相談していきたいと思う。

(意見) 学校間の交流は、本当に難しいと感じている。学校ごとにPTA活動がある中で、双岩小のPTAはどちらかというと地域の繋がりが強いが、大きい学校に行くと、全然雰囲気が違うと感じる。子どもたちの交流だけでなく、PTAでも統合の前年から保護者同士が交流をするための提案をしていかないといけないと思うが、双岩小、川上小、神山小の3校の統合となると、さらに難しいように思う。

(答) 保護者間の交流については、今後の課題とさせてほしい。

(問) 以前、旧神山幼稚園の跡地にバスの乗降場所を設置するという話を聞いたことがあるが、その後どうなったのか教えてください。

(答) 旧神山幼稚園の園庭を改修して、ロータリー式の乗降場所にできないか考えている。

(意見) 今の時期は、双岩小で陸上競技の練習をしているが、暗くならないうちに練習を切り上げて帰宅している。帰宅時間が遅くなると、小学生が一人だと心配になるので、保護者が迎えに行くことになり負担になる。新しい学校でも暗くなる前にスクールバスで帰宅することができれば安心なので、帰宅時間の配慮をお願いしたい。

(答) 低学年と高学年では学校の終業時間が異なるので、それぞれの時間に合わせてスクールバスを運行する。また、時期によっては、子どもたちの水泳練習や音楽会の練習、10月に行われる陸上大会に向けての練習などがあるので、保護者に負担をかけないようにスクールバスの配車計画を考える。

(問) 子どもの数を見る限り、学校の統廃合は致し方ないと思っているが、八幡浜市として、子どもの数や市の人口を含めて、将来的にはどの程度の人数を目標に設定しているのか。それにより、学校の統廃合について、もっと具体的な話になってくると思う。

(答) 全国的に少子高齢化が進行する中、どの自治体も子どもの数が減少している。将来的な目標値については、市として描ききれていないが、現状の数字を見ながら、その中で一番良い選択をして、子どもたちが集団的な活動ができるよう学校再編計画を進めていく必要があると考えている。

(意見) 登下校時には、双岩小の先生が子どもたちの見守りをを行っているが、統合後は先生の見守りが難しくなると思う。市外のある地区では、地域のおじいちゃんやおばあちゃんが朝早く子どもたちと一緒に見守りを兼ねて登校している光景を見ることもあり、学校と地域の繋がりが大事だと思うので、地域の協力を得ながら、子どもたちの登下校の見守りができれば良いと思う。

(答) 地域によっては、子どもたちだけで集団登校している学校もあれば、喜須来小のように地域の方が常に子どもたちと一緒に見守りを兼ねて登校している地域もあるので、そういうことができれば保護者も安心だと思う。

(問) 八代中と統合した旧真穴中の跡地は、何に活用されているのか。

(答) 真穴中と真穴小の校舎が同じ敷地内にあり、体育館とプールは共用していた。現在、真穴中の校舎は、地域の自主防災会などに使用されている。学校跡地利用については、旧舌田小の校舎はマンダリンとなり、更に現在、プールに弓道場を建設する計画を立てているが、その場合、建物を取り壊す費用等が発生するので、国の補助金や有利な起債を利用しながら、市の歳出を抑えるように進めていく必要がある。用途により国の補助金等が決まるので、用途が決まっていない箇所については、そのままとなっている。双岩小の跡地利用は決まっていないので、跡地利用の要望等があれば、教育委員会に連絡してほしい。